

公益財団法人岡本太郎記念現代芸術振興財団
2016 年度事業実施報告書

I. 事業の概況

1 現代芸術に関する作家、研究者に対する助成

2 現代芸術に関する優れた活動に対する顕彰

(1) 第 20 回岡本太郎現代芸術賞

本賞は、1997 年岡本太郎の精神を継承し、自由な視点と発想で現代社会に鋭いメッセージを突きつける作家を顕彰するべく設立された。今回で 20 回目を迎える本賞は 499 点の応募があり、創造性あふれる 26 名(組)の作家が入選した。

本事業のスケジュール等は以下の通りである。

[経過]

1. 応募期間 2016 年 7 月 15 日～9 月 15 日
2. 予備審査 2016 年 10 月 22 日
3. 第一次審査 2016 年 11 月 5 日
4. 入選作品搬入 2017 年 1 月 20 日、21 日
5. 第二次審査 2017 年 1 月 24 日
6. 入賞者発表・授賞式・レセプション 2017 年 2 月 2 日

[審査員](敬称略、五十音順)

- 榎木 野衣 美術批評家/多摩美術大学教授
平野 暁臣 空間メディアプロデューサー/岡本太郎記念館館長
北條 秀衛 川崎市岡本太郎美術館館長
山下 裕二 美術史家/明治学院大学教授
和多利浩一 ワタリウム美術館キュレーター

[入賞者]

賞名	作家名	作品名	賞金
岡本太郎賞	山本直樹	Miss ile のみた風景	200 万円
岡本敏子賞	井原宏路	Cycling	100 万円
特別賞	井上裕起	Salamander[F1]	20 万円
特別賞	あべ ゆか	BE GOD	20 万円
特別賞	黒木重雄	One Day	20 万円

(2) 第20回岡本太郎現代芸術賞展

入賞、入選した作品展を以下の通り一般公開した。

会期 2017年2月3日～4月9日

会場 川崎市岡本太郎美術館

会期中は、入選作家によるギャラリートークやパフォーマンスを行うとともに、Taro 賞入選作品26点の来場者による人気投票を行った。

3 岡本太郎記念館の運営

(1) 開館時間・休館日等

[開館時間] 10:00～18:00

[休館日] 火曜日(祝日の場合は開館。翌日も開館)※振替休館はしない。
年末年始(12月28日～1月4日)及び展示替え、保守点検日。

[観覧料] 一般 620円(520円)

小学生 310円(210円) ()内は15名以上の団体料金

[ネット割引等] 記念館HPのネット割引(プリントして持参)と企画展のチラシ割引を実施した。(各100円引き)

[TARO PASSPORT] 岡本太郎や記念館のファンに対し何回入館しても無料となる会員パス。特典として会員同伴者は3名まで団体割引を適用、記念館主催の講座等への優先受付、ショップ、カフェでの割引がある。
現在の会員数 78人

(2) 入館者数

2016年度 月別入館者一覧

月区分	開館日数	大人				小人				入館者			総入館者数
		一般	団体割引	WEB割引	チラシ割引	一般	団体割引	WEB割引	チラシ割引	有料	無料		
		620円	520円	520円	520円	310円	210円	210円	210円		会員	招待	
4月	26	2,500	30	468	42	66		25		3,131	17	15	3,163
5月	27	3,181	146	581	92	76		27	1	4,104	27	39	4,170
6月	26	2,239	22	454	92	34		14	1	2,856	15	43	2,914
7月	26	2,468	107	514	113	57	21	38	1	3,319	27	36	3,382
8月	26	2,883		733	102	132		51	4	3,905	18	30	3,953
9月	26	2,499		507	111	50		10	0	3,177	18	20	3,215
10月	26	2,626	28	568	158	57		13	1	3,451	7	36	3,494
11月	24	2,544	74	462	19	54		24		3,177	20	236	3,433
12月	23	2,267	39	407	19	35		13		2,780	20	40	2,840
1月	23	2,098	72	432	31	55		25		2,713	23	43	2,779
2月	24	2,432	89	512	40	51		15		3,139	19	69	3,227
3月	22	2,483	56	544	45	71		26	1	3,226	15	98	3,339
合計	299	30,220	663	6,182	864	738	21	281	9	38,978	226	705	39,909

年度別入館者数の推移(五力年)

	2012年度(24年度)	2013年度(25年度)	2014年度(26年度)	2015年度(27年度)	2016年度(28年度)
総入場者数	42,131	33,688	40,932	43,286	39,909

(3) 企画展の実施

今期は以下の企画展を実施した。

①「生きる尊厳-岡本太郎の縄文-」2016年3月2日～7月3日

縄文土器。そこには自然を敬い、自然を畏れ、自然と溶け合いながら生きた縄文人たちの精神が刻印されている。太郎にとって縄文との出会いは日本の発見であり、自分自身の発見であった。岡本太郎によって考古学の呪縛から解放された縄文は、日本の美意識の原点として一躍クローズアップされた。

岡本太郎の作品と縄文土器を同じ空間で体感する。協力：國學院大学博物館

特別講座「岡本太郎と縄文を語る」5月7日

講師 石井 匠（國學院大学博物館学芸員）

②「岡本太郎の沖縄」2016年7月6日～10月30日

1959年11月、返還前の沖縄にはじめてその土をふんだ岡本太郎。そこで太郎がふれたものは、我々の生活の根源的な感動であった。そこにほんとうの日本を見た太郎は夢中になってシャッターを切った。太郎が撮影した写真とともに、当時の貴重な記録映像で構成する。協力：(株)沖縄テレビ開発

特別イベント 「波紋音」演奏 9月24日

演奏者 永田砂知子(パーカッション奏者、即興演奏家)

③「館鼻則孝 呪力の美学」2016年11月2日～3月5日

レディーガガのヒールレスシューズをデザインした若きアーティスト館鼻則孝とのコラボレーション。記念館をジャックした館鼻の作品群と太郎の肉声と映像が過去、現在、未来が混在する世界へ誘う。

対談 「館鼻則孝×平野暁臣(岡本太郎記念館館長)」 2017年1月13日

④「TARO 賞 20年/20人の鬼子たち」2017年3月12日～6月18日

TARO 賞 20周年を記念した企画展。過去20回の太郎賞の入選、入賞者から現在現代美術の最前戦で活躍する20人の作家を選出し、記念館に一堂に会して展覧会を行う初の試み。財団設立20周年記念事業として位置づけ、現代芸術のアワードとして更なる認知度の拡散を図る。

(4) 岡本太郎現代芸術賞受賞者作品展

第18回岡本太郎現代芸術賞において、岡本太郎賞及び岡本敏子賞を受賞した作家による作品展とトークショーを記念館で実施した。

①久松知子(岡本敏子賞) 新作展示 (4月8日～28日)

作品1「芸術家の研究所」

作品2「it' s a modernisum world」

トークショー 「赤坂憲夫(学習院大学教授)×久松知子」 4月28日(木)

②Yotta(岡本太郎賞)新作展示(6月15日~7月3日)

作品「The Dawn of Glad Tidings #WW3.0」

トークショー 7月1日(金)

(5)ギャラリートーク

当館学芸員による記念館や作品の解説を来館者に行うギャラリートークを毎月実施した。

4月14日(木)、5月13日(金)、6月16日(木)、7月15日(金)、8月19日(金)、
9月15日(木)、10月13日(木)、11月16日(水)、12月16日(木)、1月12日(木)
2月16日(木)、3月17日(金)

(6)広報活動

記念館のHP及びアートニュースサイトPLAY TAROからの情報発信に努めた。記念館でのトークショーではテキスト中継を行うなどSNSによる情報の共有、拡散を図った。企画展の告知のためニュースリリースの送信や大学、美大、美術専門学校、美術館(博物館)、図書館などにはフライヤーを作成し配布、配架の依頼を行った。また、観光・旅行ガイドブック(JR、メトロ、JTBなど)への掲載協力や依頼、新聞、TV等メディアの取材、資料提供などに積極的に対応した。

4 現代芸術に関する調査研究・資料収集

(1)調査研究

今期も、岡本太郎の未整理デッサン、書簡の整理及び調査(制作年代、本画との照合、関連資料の撮影等)を継続して実施した。また、記念館の企画展における出品作品の選定作業や作品集などの出版に関連して、作品写真や作品データの整理及び新聞記事の調査とデータ化作業などを実施した。

(2)資料収集・整理

岡本太郎作品の散逸を防ぎ保存するため、作品や関連資料の調査、収集・整理作業を進めている。今期は分散して保管していた作品を一括して管理するため、分散されていた作品を確認、整理して記念館および古河倉庫に収納した。今後企画展等で適宜公開していく。

5 美術館等関係機関との連携・協力活動

美術館、博物館等の文化施設や関係機関そしてNPO法人との連携・協力を図りながら現代芸術の普及啓蒙活動に努めた。

主な連携・協力活動は以下の通りである。

(1) 美術展等

① 「郷愁と未来の輝き-クレパス画名作展」

2016年4月9日～6月19日 姫路市立美術館/兵庫県

② 「1945年±5年」展

2016年5月21日～7月3日 兵庫県立美術館/兵庫県

7月30日～10月10日 広島市現代美術館/広島県

③ 文学講座「渋谷ゆかりの文学者 岡本太郎《明日の神話》をめぐって」

2016年6月25日 白根記念渋谷区郷土博物館・文学館/東京都

④ 「ありがとう近代美術館 PART1 マイ・ベスト×ユア・ベスト-わたしたちのコレクション」

2016年7月9日～9月4日 富山県立近代美術館/富山県

⑤ 特別展「あの時みんな熱かった！アンフォルメルと日本の美術」

2016年7月29日～9月11日 京都国立近代美術館/京都府

10月14日～1月22日 パレ・デ・ボザール/ブリュッセル・ベルギー

⑥ 「七彩に集った作家たち」展

2016年7月29日～9月19日 京都国立近代美術館/京都府

⑦ 原爆展

2016年8月3日～8月8日 船橋市民ギャラリー/千葉県

⑧ 岡本太郎の版画

2016年8月4日～9月24日 須坂版画美術館/長野県

⑨ 所蔵作品展「MOMAT コレクション」

2016年8月16日～11月13日 東京国立近代美術館/東京都

⑩ 「杉本博司 ロスト・ヒューマン展」

2016年9月3日～11月13日 東京都写真美術館/東京都

⑪ 特別企画展「人が大地と出会うとき」

2016年9月10日～10月23日 愛知県陶磁美術館/愛知県

⑫ 「篠山紀信写真展 KISHIN meets ART」

2016年9月17日～2017年6月25日 彫刻の森美術館/神奈川県

- ⑬ 「日本におけるキュビズム-ピカソ・インパクト」
2016年10月1日～11月13日 鳥取県立博物館/鳥取県
11月23日～2017年1月29日 埼玉県立近代美術館/埼玉県
2017年2月12日～3月26日 高知県立美術館/高知県
- ⑭ 「1950年代の日本の美術 戦後の出発点」展
2017年1月28日～3月26日 神奈川県立近代美術館/神奈川県
- ⑮ さんじょう遺跡物語展示会「遺跡発掘調査速報展 なんだ、これは！」
2017年2月17日～3月26日 三条市歴史民俗産業史料館/新潟県
- ⑯ 上田市立美術館コレクション展～大版画に挑んだ作家たち～
2017年2月23日～4月16日 上田市立美術館/長野県
- ⑰ 「くらしの文化遺産-変革の記憶、LIXILの宝もの」
2017年3月3日～3月21日 LIXIL GINZA ギャラリー/東京都

(2) NPO 法人との連携

NPO 法人明日の神話保全継承機構が実施する『明日の神話』に付着したホコリを取り除くなどの清掃活動にボランティアとともに参加・協力を行った。

「明日の神話」煤払い 2016年10月28、29日、11月4、5日

6 ミュージアムショップ

今期の新グッズは以下の通りである。

- ①ポストカード 「太陽の塔」(大判)2種
- ②ピンバッジ 「太陽の塔」
- ③マグネット 「太陽の塔」
- ④マグカップ 「花ひらく」「太陽の塔」
- ⑤Tシャツ (PLAY TARO Tシャツデザインコンペ最優秀賞受賞者の新デザイン・2種)
- ⑥キーチェーン 「鯉のぼり」
- ⑦パスケース 「黄金の顔」
- ⑧リュック、キャップ、ハット(NEWERA とのコラボ製作)
- ⑨その他

7 その他の事業

(1) 「太陽の塔」関連事業

- ①長編ドキュメンタリー映画「太陽の塔」(仮)の製作

本映画は、1970年の歴史的な巨大イベント・大阪万博で岡本太郎が遺した《太陽の塔》のもつ今日的意味を約半世紀の時を経て改めて世に問いかけるものである。

製作を進めるにあたり、長編ドキュメンタリー映画「太陽の塔(仮)」製作委員会(財団、(株)パルコ、(株)スプーン)を立ち上げ、「太陽の塔」を愛し製作趣旨に賛同する監督公募を9月に実施した。その結果、応募した98名の中から関根光才氏(映像作家)が監督に決定した。10月中旬から製作を開始し2018年に公開の予定である。

②映像資料のアーカイブ化

1970年に開催された大阪万博のオフィシャルフィルム「日本万国博 展示館及び展示篇」(日本館、テーマ館、日本庭園)及び「いのちの科学-万博・テーマ館を追って-」(現代芸術研究所製作、持田製薬企画)などの16mmフィルムを入手しDVD化した。

II 財団の現況

1 事業

当財団の定款に掲げる事業は次の通りである。

- (1) 岡本太郎記念館の運営
- (2) 岡本芸術の普及啓蒙に関する事業
- (3) 現代芸術に取り組む作家、研究者に対する助成顕彰
- (4) 現代芸術に関する優れた活動に対する助成顕彰
- (5) 岡本太郎及び内外の現代芸術に関する調査研究並びに資料収集
- (6) その他目的を達成するために必要な事業

2 役員

理事長	清水井敏夫	元アラビア石油(株)代表取締役専務取締役
常務理事	平野暁臣	(株)現代芸術研究所代表取締役
理事	中田捷夫	(株)中田捷夫研究室代表取締役
	山下裕二	明治学院大学教授
	吉村絵美留	(有)吉村美術研究所代表取締役
評議員	河口洋一郎	東京大学大学院教授
	川崎 豊	蔵王リゾートサービス(株)代表取締役
	近藤隆治	ホープ(株)相談役
	榎木野衣	多摩美術大学教授
	和多利浩一	ワタリウム美術館キュレーター

監 事	千賀修一	虎ノ門法律経済事務所所長 弁護士
顧 問	糸井重里	(株)ほぼ日代表取締役
	千 玄室	裏千家前家元
	平野繁臣	(株)現代芸術研究所顧問
	福田紀彦	川崎市長
	福原義春	(株)資生堂名誉会長
	与謝野馨	前衆議院議員

(2017年3月31日現在)

3 事務局

職員数7名（正職員4名、その他）

4 理事会・評議員会

(1) 理事会

[第1回理事会]

- ・開催日 2016年6月6日
- ・会 場 岡本太郎記念館・分室会議室
- ・出席者 清水井敏夫 平野暁臣 山下裕二 中田捷夫 吉村絵美留
監事 千賀修一
決議に必要な出席理事数3名、出席理事5名
- ・議 案 第1号議案 2015年度事業実施報告書(案)及び収支決算書(案)承認の
件
第2号議案 定時評議員会の招集について
- ・報 告 代表理事・業務執行理事の職務の執行状況について
- ・審議結果 各議案、報告ともに全員異議なく原案どおり承認及び了承された。

[第2回理事会]

- ・開催日 2017年3月13日
- ・会 場 岡本太郎記念館・分室会議室
- ・出席者 清水井敏夫 平野暁臣 山下裕二 中田捷夫 吉村絵美留
決議に必要な出席理事数3名、出席理事数5名
- ・議 案 第1号議案 2017年度事業計画書(案)並びに正味財産増減予算書(案)
の承認について
第2号議案 顧問の選任について
第3号議案 臨時評議員会の招集について

- ・ 報 告 理事長・常務理事の職務の執行状況について
- ・ 審議結果 各議案、報告ともに全員異議なく原案どおり承認及び了承された。

(2) 評議員会

[定時評議員会]

- ・ 開催日 2016年6月22日
- ・ 会 場 岡本太郎記念館・分室会議室
- ・ 出席者 河口洋一郎 川崎 豊 近藤隆治 榎木野衣 和多利浩一
理事 清水井敏夫 平野暁臣
決議に必要な出席評議員数3名、出席評議員数5名
- ・ 議 案 第1号議案 2015年度事業実施報告書及び収支決算報告書(案)の承認
の件
- ・ 報 告 理事長・常務理事の職務の執行状況について
- ・ 審議結果 議案、報告ともに全員異議なく原案どおり承認、了承された。

[臨時評議員会]

- ・ 開催日 2017年3月22日
- ・ 会 場 岡本太郎記念館・分室会議室
- ・ 出席者 榎木野衣 川崎 豊 和多利浩一 河口洋一郎
理事 清水井敏夫 平野暁臣
決議に必要な出席評議員数3名、出席評議員数4名
- ・ 議 案 第1号議案 2017年度事業実施計画書並びに正味財産増減予算書につ
いて(報告)
第2号議案 顧問の選任について(報告)
- ・ 報 告 理事長、常務理事の職務の執行状況について
- ・ 審議結果 議案、報告ともに全員異議なく原案どおり了承された。

以上